

## 新火葬場建設候補地（答申内容）市民説明会 開催記録

○日時 令和元年6月28日 午後7時から午後7時40分まで

○場所 高山市民文化会館 3-11講堂

○参加人数 22名

○高山市職員

市民保健部長 矢嶋 弘治 火葬場建設推進室長 池之俣 浩一

火葬場建設推進室担当監 大川 誠 火葬場建設推進室職員 義基 現徳

○質疑応答の概要

参加者：

説明を聞くと、ほとんど丹生川町大萱の候補地に決定と受け止められる。しかし、新聞などを見ると、近辺の1つの町内会だけでは解決できないのではないかという不安がある。過去にスカイパークでの火葬場の整備を検討した際には、土地のこと、交通のこと、道路のことなどの課題があった。

丹生川町大萱の候補地は1人だけが所有者で、寄附されるとのことだが、どれぐらいの金額か。農地か。

市職員：

一部雑種地と農地である。

参加者：

農地の場合、農業に供する面積が5反以上とならなければ、権利の移動が許可されない。寄附とのことだが、まったく対価を払わなくてもよいということか。

市職員：

丹生川町大萱の候補地が建設地として決定した場合、寄附されるということであり、まだ寄附されていないが、無償で寄附するという申し出である。

参加者：

過去にスカイパークを白紙撤回したことは、地元住民の反対が多かったためかと思うが、6月27日の丹生川支所での市民説明会において、どういう意見が出たかを公表してほしい。

丹生川町大萱の候補地が寄附された場合、寄附を申し出た方に対し、周辺を整備するといった条件がついているか。

市職員：

議事録は概要を公開予定である。さまざまな意見があり、1日に何回利用されるか、

どれぐらいの交通量か、周りが農地であることに対する市としての考えはどうか、新火葬場建設検討委員会では、費用に関して、造成が数億円程度といった幅がある表現で検討したので、市がコストを明確にすべきではないかといった意見があった。資料5の選考基準の14番「希少な動植物の有無」はどのように確認したか、整備を進めるのであれば環境影響評価をしっかりとってほしいといった意見もあった。

寄附に関し、検討委員会でも同様の心配がされ、そういうことは一切ないことを、市として確認している。

市職員：

寄附を申し出た方に、周辺の環境整備の条件がついていることはない。

参加者：

丹生川町の者である。今、施設の整備にあたって条件はないとのことだったが、まだ条件を出す段階ではなく、市の説明はおかしいと思うから、撤回すべきである。

市職員：

今の件は、寄附を申し出た方に対して見返りがあるかということに関し、そうしたことはないということであり、火葬場を整備する地域への環境整備ということではない。

参加者：

了解した。

答申された3つ候補地の中でどれか1つに決定すると思うが、決定時、候補地に隣接する土地の所有者や町内会の同意や承諾は、必ず必要になるか。それらを見捨てても、市でやり遂げるか。

市職員：

市としては、まずは皆さんの理解を得ることが大切と思っており、地元で理解をいただけるよう、説明するという姿勢で臨む。

以上